

大成建設の社員の皆様へ

辺野古の米軍基地建設に関わる仕事には、社員として加わらないで下さい。 「地図に残る」のは米軍基地でもいいのですか？

Stop! 沖縄新基地建設・福岡, henokotakae@gmail.com

(本状の文責：豊島耕一 久留米市山本町, 電話番号は紙上のみ)

大成建設の皆様のお仕事には、私たち市民は全国いたるところでその恩恵を受けております。地元では、福岡空港の国際旅客ターミナルビル（写真は大成建設 HP より）には、私も含め多くの人がお世話になっています。そのような仕事を今後も続けて頂きたいと思えます。



福岡空港国際旅客ターミナルビル

ところが貴社は、沖縄・辺野古の海を埋め立てる米軍基地の建設を請け負っています。これに対して、沖縄県はじめ多くの沖縄県民が基地建設に強く反対しているのはご承知かと思えます。貴社の企業倫理「大成スピリッツ」には「地域社会とのコミュニケーション」という項目がありますが、地元の名護市はもちろん、沖縄県とはこの問題で

どれだけコミュニケーションを取られたのでしょうか？

それに何よりも、辺野古で貴社が建設されようとしているのは軍事基地です。橋やスタジアムではありません。日経新聞 2008 年 2 月 28 日掲載の、「地図に残る仕事って、結構スゴイ」というタイトルの広告が貴社のウェブに上げられています。その中に、「大成建設は・・・人がいきいきとする環境を創造しています」、「私たちが目指しているのは、できるだけ世界中にたくさんの笑顔を残すことです」と書かれています。はたして軍事基地を作ることが、しかも「大量破壊兵器がある」との言いがかりでイラクに攻撃をしかけた国の、そして今も世界中で戦争をしている国の軍事基地を作ることが、どうして「人がいきいきとする」ことになるのでしょうか？「世界中にたくさんの笑顔を残す」ことになるのでしょうか？

（裏に続きます）

“地図に残る仕事”って、結構スゴイ！

学生さん： 実は、わたしの父は大成建設で、「地図に残る仕事」をしています。みんなが知っているような建物をつくっていることを母から教えられたときは、とてもびっくりしました。それ以来、父のことを見直しちゃいました。「お父さん、やるじゃん」って。

大成建設： 大成建設は道路や橋、空港…国や社会、街が元気になるものから、商業施設や住宅など暮らしに身近なものまで、人がいきいきとする環境を創造しています。

学生さん： なるほど…自分たちが住んでいた、ふだん遊びに行ったりする場所が、「実は大成建設」なんていうことが、結構あるんですね。

大成建設： そうですね。そして、私たちが何よりうれしいのは、自分たちの手がけた建物を訪れた方が「楽しかったね」「また行きたいね」と満足してくれることなんです。

学生さん： 「地図に残る仕事」は、まさに「笑顔を残る仕事」!

大成建設： おっしゃる通り、私たちが目指しているのは、できるだけ世界中にたくさんの笑顔を残すことです。「仕事をやり終えた先に、たくさんの笑顔が待っているんだ。」と思えば、どんな時でもがんばれる。「地図に残る仕事」というフレーズは、

辺野古の基地建設を請け負ったのは会社の決定だから、社員としてはそれに従うしかない、と考えるられるかも知れません。しかし**技術者倫理**の一つの項目は、**良心に反する仕事には「不参加による不服従」**が認められるべきであるとしています。しかもそのような場合、**「使用者は従業員に、仕事を失うか、さもなければ良心に反するかの二者択一を迫るべきではない」**とさえ書かれています。詳しくは末尾の[別記]をご覧ください。

基地建設に疑問を持たれたとしても、会社の方針に抵抗することは大変な勇気を必要とします。心の強さも必要です。だれにでも出来ることではないでしょう。しかし多くの社員の皆様の中には、たとえ少数でも、このような勇気と行動力をお持ちの方がいらっしゃるものと信じます。

組織には良心は存在しません。良心が存在するのは個人の心の中だけです。そして良心に従い、良心を生かす義務は、専門職や技術者だけの問題ではありません。一般職でも同じことが言えると思います。

**「地図に残る」のは米軍基地でもいいのですか？
あなたの子どもや孫に誇りを持って語れますか？**

[別記] C.E. Harris, Jr.ほか、「科学技術者の倫理」(丸善2008年)から、「不参加による不服従」の部分を紹介します：

「技術者には、軍事関連プロジェクトや環境に悪影響のあるプロジェクトに対しては、不参加による不服従があり得る。」

(中略)

「不参加による不服従は、専門職の倫理または個人の倫理を根拠とすることができる。技術者は自分が安全でないと思う製品の設計を拒否する場合に、その根拠を公衆の安全、健康、および福利を優先するよう要求している専門職規程に置くことができる。」

(中略)

「・・・組織体は、可能であれば良心を根拠とする要請は、尊重すべきだと考える。共通モラル (common morality) は、個人の良心を侵害することは重大なモラル問題であるとしている。使用者は従業員に、仕事を失うか、さもなければ良心に反するかの二者択一を迫るべきではない。」

2016. 1. 26.

フェイスブック <https://www.facebook.com/Stop> 沖縄新基地建設福岡-774652755967398/

